

(仮訳)

横浜行動計画２０１３－２０１７別表

２０１４年５月５日

アフリカ諸国の閣僚、代表団並びにＴＩＣＡＤ共催者たる日本国政府、アフリカ連合委員会（ＡＵＣ）、国連事務総長アフリカ特別顧問室（ＵＮＯＳＡＡ）、国連開発計画（ＵＮＤＰ）及び世界銀行は、他のパートナー諸国、国際・地域機関、民間セクター及び市民団体の代表とともに、２０１４年５月４日及び５日、第１回ＴＩＣＡＤＶ閣僚会合のため、カメルーン共和国のヤウンデにおいて一堂に会し、閣僚会合に提出された横浜行動計画２０１３－２０１７別表を承認した。

別表は、ＴＩＣＡＤＶの際にテンプレートとして採択された。そのため、参加者は、行動計画の各々のセクターに自らの具体的施策を別表テンプレートに記入する形で提出するよう求められた。ＴＩＣＡＤ共同事務局は提出された情報に基づき別表案のとりまとめを課され、別表の記述に基づき、各セクターの別表サマリーを作成した。

参加者は、別表の完成を歓迎し、別表の具体的施策の進捗のより効果的なモニタリングを確保するＴＩＣＡＤＶ年次進捗報告書作成ガイドラインを承認した。

加えて、アフリカの経済成長と開発課題の実施の支援、触媒的機能を果しているＮＥＰＡＤ及び地域経済共同体（ＲＥＣｓ）の任務、役割及び責任を認識し、これらの機関はアフリカ側が取り組むＴＩＣＡＤＶプログラムの実施及びＴＩＣＡＤプロセスのモニタリング取極に関与することが求められた。

参加者は、別表の各々の具体的施策を着実に実施することによって、アフリカ、ＴＩＣＡＤ共催者及び他のＴＩＣＡＤパートナーが、行動計画に示された成果目標の実現に向け協働していくことを再確認した。

(了)